

保育補助者雇上強化事業

【平成28年度予算：118億円】

(保育対策総合支援事業費補助金予算390億円の内数)

【目的】

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない短時間勤務の保育補助者の雇い上げに必要な費用を支援する。

※ 27年度補正予算案における、保育補助者雇上費の貸付支援と合わせて効果的に活用

【実施主体】

市町村

【貸付額】

保育補助者に係る賃金（2,215千円（年額）） ※短時間勤務者（6時間勤務）

【保育補助者の業務】

保育所等に勤務する保育士の補助

（具体例）保育日誌の記入、翌日の準備、定期的な行事の準備及び当日対応、保育士との共同による保育の実施 など

【支給条件】

- 1施設につき、保育補助者1名を追加で配置した場合に支給する
- 保育補助者には、保育士修学資金貸付等を活用し、保育士資格の取得に努めること
- 一定の研修（子育て支援員等）を受講している者か、それと同等以上であると市町村長が認める者であること
- 短時間正社員制度の導入など、職員の雇用管理や職場環境の改善を積極的に行っている保育事業者であること
- 保育事業者は、保育補助者の配置による具体的な改善計画を実施主体に提出し、かつ、当該計画に基づき改善を行うこと

【補助率】

国 3/4 地方 1/4（都道府県1/8 市町村1/8 又は 指定都市1/4）

【実施主体】



補助

【保育所等】



保育士の勤務環境改善⇒離職防止

○保育所等において保育士の補助

- ・保育日誌の記入
- ・翌日や行事に向けた準備と対応
- ・保育士との共同による保育の実施 など



保育士修学資金貸付を活用し、保育の担い手の裾野を拡げ保育士増加へ

雇上

研修受講
修了

【保育補助者】



※子育て支援員研修等



- 保育士養成施設で受講修了（夜間・通信制は3年間）
又は
- 保育士試験合格

保育士資格取得

保育士として引き続き勤務



若手保育士や保育事業者への巡回支援事業

新

【平成28年度予算:13億円】

(保育対策総合支援事業費補助金予算390億円の内数)

【概要】

公立保育所のOB・OGやソーシャルワークの専門職等を活用し、保育所等に勤務する経験年数の短い保育士に対し、保育現場におけるスキルアップや保護者対応等、当該保育士へ助言指導を行うため、保育所等への巡回相談を行う。

また、保育所等におけるICT化の推進、保育士の業務負担軽減及び保育所等の事業運営の高度化を図るための保育事業者に対する助言指導、保育事故防止や保育の質確保に関する助言指導等を行うため、保育所等への巡回相談を行う。

【実施主体】

都道府県又は市町村

【補助率】

国 1/2 地方 1/2

【補助単価】

巡回相談を行う者に係る賃金等 (最高4,064千円(年額:1人当たり))

【若手保育士への巡回支援】

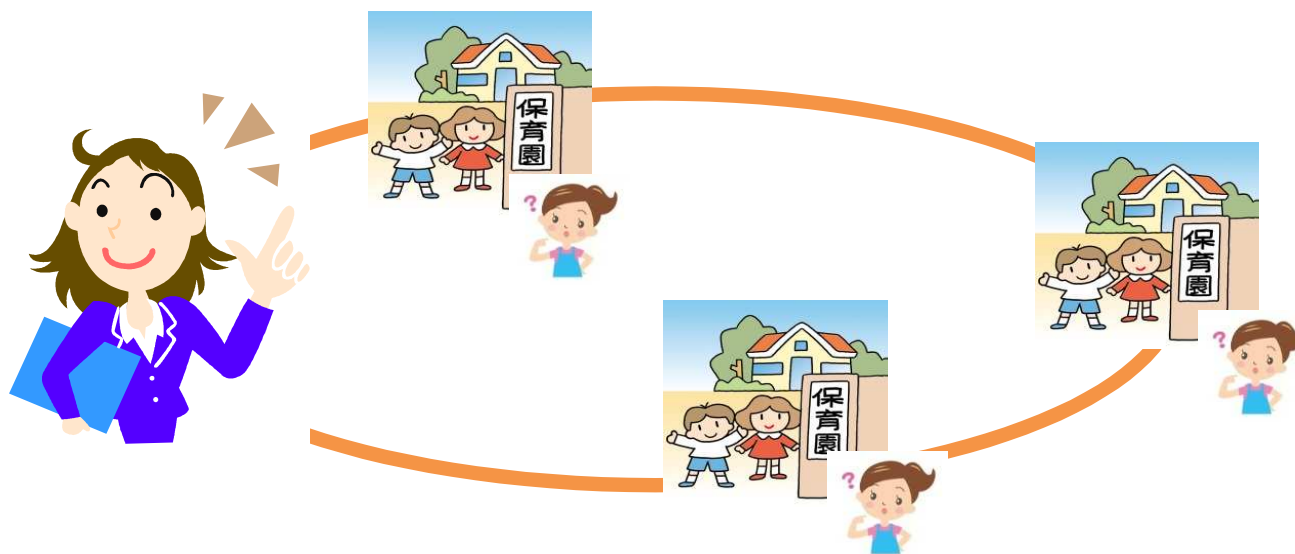
- ・ 保育士業務全般に関する助言
- ・ 保護者対応のポイント
- ・ 保育士からの相談内容に応じた保育事業者への助言指導

など

【保育事業者への巡回支援】

- ・ 保育所等のICT化についての助言
- ・ 保育士の業務負担軽減の方法等雇用管理についての助言指導
- ・ 保育所等の安定運営に関する助言
- ・ 保育事故防止に関する助言指導
- ・ 保育の質確保に関する助言

など



保育士等のキャリアアップ構築のための人材交流等支援事業

新

【平成28年度予算：10億円】

(保育対策総合支援事業費補助金予算390億円の内数)

【目的】

- ①保育所等の施設間や小規模保育事業所と連携施設となる保育所間等において、保育士等の実地派遣研修や人材交流を実施することや、
- ②指定保育士養成施設の学生を受け入れることにより、実習指導に当たる保育士等が研鑽を積むことにより、保育士等の更なるキャリアアップ体制を構築すること等を目的とする。

【事業内容】

人材交流による保育士や実習生を受け入れることにより生じる、資料作成や教材等に係る費用の一部を保育所等に対して補助する。一定の実地派遣研修・人材交流の計画書や質の確保された実習指導を行う体制がある場合に補助。

【補助単価】

- ①実地派遣研修における研修代替費用として1日当たり6,120円・人材交流の際の調整費用
- ②実習生1人当たり1万円分を施設へ助成（2週間相当）

【実施主体】

市町村（施設に対して助成）

【補助率】

国：3/4 地方：1/4

期待される効果例

- 新人・若手職員の実地派遣研修 ⇒ 質の高い実地経験によるスキルアップ・定着促進
- 施設間の人材交流 ⇒ 多様な職場の経験によるキャリアアップ
⇒ 連携施設間の連携の実習強化
- 養成校の学生の実習受入 ⇒ 質の高い実習による卒業後の保育所就職率の向上
⇒ 実習指導にあたる保育士のキャリアアップ



離職防止・就職数増加